

# 特別活動論

単位数	ナンバリングコード		
2	DTP286		
	教員名	渡邊 仁	
	専門	教育学・教育心理学・学校心理学	
	出身校等	北海道大学	
	現職	北海道情報大学経営情報学部 講師	
授業形態			
前期印刷授業・後期印刷授業			
授業範囲	試験範囲		
教科書の内容全て・学習用プリントの内容全て	授業範囲全て		
	【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く） と生成系AIの参照は不可とする。		
科目の概要			
-特別活動の意義と目標 -特別活動の内容 -特別活動の指導法 自分が受けた教育が全ての教育ではない。また、自分が経験した特別活動が全ての特別活動ではない。そのため、多角的に特別活動を捉え、特別活動の意義・目標・内容に対する理解を深めることで、生徒にとって有意義な特別活動の指導に必要な知識や素養を身に付ける。			
授業における学修の到達目標			
学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。			
講義の方針・計画			
全15回の講義から構成されている。学習用プリントを参照し、各講義の授業課題に取り組むことが求められる。 第1回：特別活動の概要 第2回：特別活動の意義と集団活動 第3回：ホームルーム活動の概要 第4回：ホームルームや学校における生活づくり 第5回：日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 第6回：一人一人のキャリア形成と自己実現 第7回：生徒会活動の概要 第8回：ホームルーム活動と委員会活動のつながり 第9回：生徒会活動の指導と目標 第10回：部活動 第11回：学校行事の概要 第12回：儀式的行事・文化的行事			

<b>講義の方針・計画</b>
<p>第13回：健康安全・体育的行事  第14回：遠足（旅行）・集団宿泊的行事  第15回：勤労生産・奉仕的行事</p>
<b>準備学習</b>
<p>印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。</p>
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法</b>
<p>印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。</p>
<b>成績評価の方法およびその基準</b>
<p>科目試験による評価100%</p>
<b>教科書</b>
<p>書名：特別活動  著者名：上岡学  発行所：ミネルヴァ書房  版：2021年  ISBN：978-4-623-08911-6</p>
<b>参考書</b>
<p>なし</p>
<b>その他</b>
<p>なし</p>
<b>試験期間</b>
<p>シラバス検索画面トップページ (<a href="https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/">https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/</a>) 下部の「2025学年暦」を参照</p>
<b>学習プリント</b>
<p>あり</p>
<b>教職科目</b>
<p>情報5の1（必修）、商業5の1（必修）、高校数学5の1（必修）、中学数学5の1（必修）</p>
<b>関連受講科目</b>
<p>なし</p>
<b>担当教員の実務経験</b>
<p>2004年から2021年まで、北海道の公立高校教員としての実務経験がある。また、定時制高校での勤務において、暴力行為・停学・不登校・中退・自傷行為・虐待事案等の様々な生徒指導上の問題への対応を行ってきた。さらに、高校教員として勤務しながら教育心理学分野の研究を行い、そこで得た知見を教育現場にフィードバックし、日々生徒と向き合っていた。授業ではこれらの経験を生かした実践的・理論的な授業になるように努めている。</p>